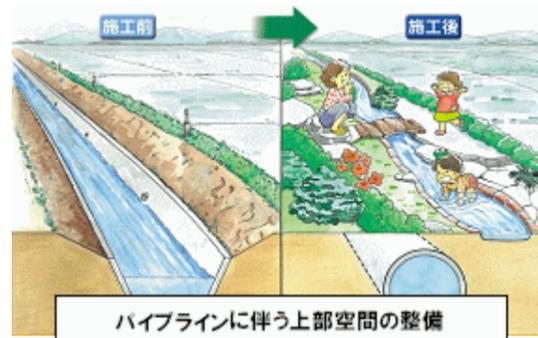


十郷用水（築千年）

場所・施設概要



- ▶ 場所 あわら市、坂井市、永平寺町
- ▶ 水源 九頭竜川
- ▶ 延長 8,400m
現在、パイプラインに改修中
- ▶ 受益農地面積 3,496ha
- ▶ 流量 35 m³/s(取水部)

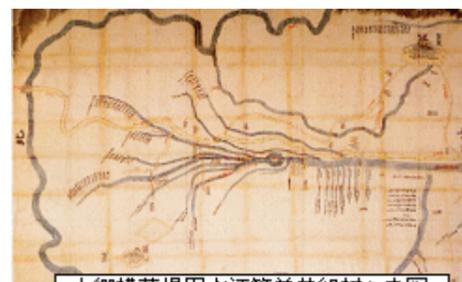


歴史

十郷用水は、平安末期に開削されたと伝えられています。春日社興福寺の荘園だった十の郷に水を引くためつくられたとされ、今もなお坂井平野の用水を担っています。

当初の十郷用水はその後、磯部、新江、高椋といくつかに分流され、江戸時代には7万石を生み出す大動脈となりました。

参考：福井県史(福井県)



十郷横落堤用水江筋并井組村々之図
(安永2年、1773年)

地域での役割

九頭竜川を水源とし、鳴鹿大堰より取水された十郷用水は、下流の水田(3,496ha)のかんがい用水として利用されています。また、上流部の水路沿いの桜並木などは地域住民の憩いの場としても利用されています。

現在、施設の老朽化等に伴い、機関水路のパイプライン化を行っています。その水路上部を有効利用して地域住民に親しまれる空間を創出するため、地域住民とのパートナーシップにより様々な取り組みが展開されています。



鳴鹿堰付近の桜並木

管理状況

用水と施設の管理は、十郷用水土地改良区が行っています。

今後、パイプライン化に伴い整備される上部空間については、地域住民と協力しながら管理していく予定です。

用水の状況

